

第 542 回 経済学会例会報告要旨

2015 年 4 月 15 日

Prosocial Behavior and Economic Preferences

奥山 尚子

時間割引や危険回避度などの経済的選好が経済行動や社会生活行動に与える影響については、消費、労働供給、健康、ギャンブル、投資、借金、環境配慮等の行動を対象に分析されている。本研究では、向社会的行動（利他的行動）を対象として、経済的選好が向社会的行動における選択に対して説明力を持つかどうかについて計量分析を行った。日本とアメリカで行った調査から得られた個票データを用いて、金銭寄付の経験を被説明変数としてパネル分析を行った結果、日本人の寄付行動では、災害救援や宗教関係の寄付に対して時間的選好（時間割引、現在バイアス）が一定の説明力を持つが、選好を表す変数次第で結果が一貫しないこと、危険回避度は災害救援や非宗教的な寄付に対して説明力を持つことが確認された。一方、アメリカ人の寄付行動では、災害救援や宗教関係以外の寄付に対しては、時間的選好（時間割引、現在バイアス）が一定の説明力を持つが、これらの選好を表す変数次第で結果が一貫しないこと、危険回避度はいずれの寄付に対しても説明力を持たないことが確認された。